

中期経営計画

－ 2021～2023年度 －

- Sustainability -

持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します



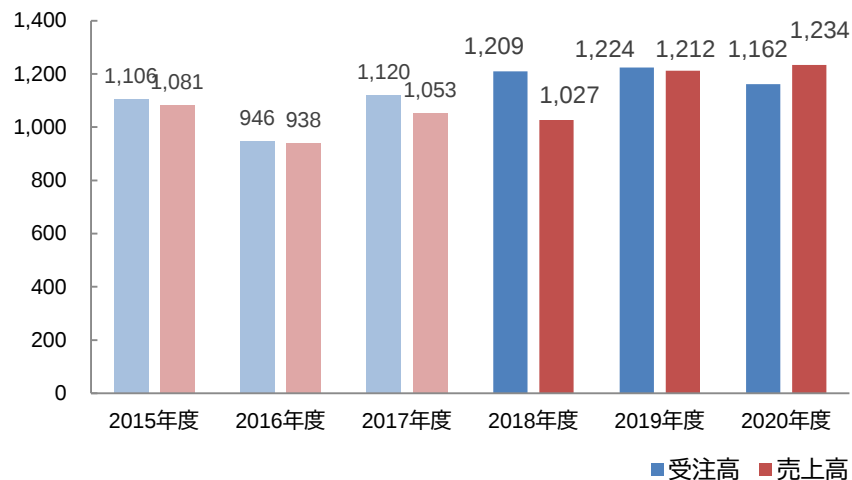
大成建設グループ

大成ロテック株式会社

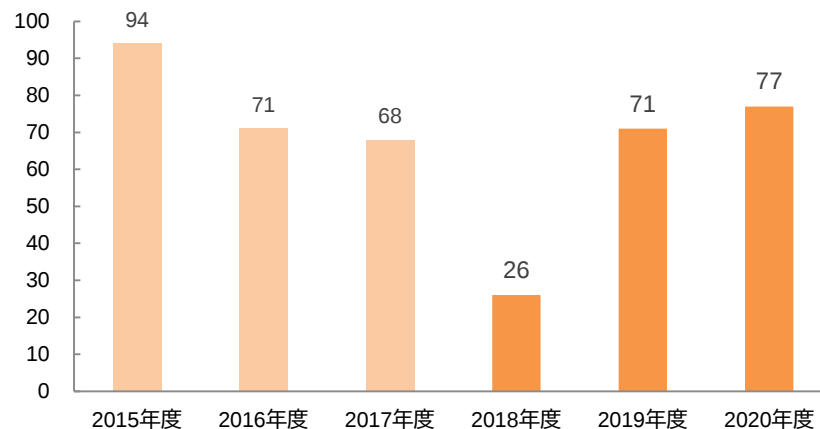
For a Lively World

前中期経営計画 業績状況

受注高・売上高



営業利益



前3ヶ年(2018~2020年度)

(億円)

摘 要	2015年度 実 績	2016年度 実 績	2017年度 実 績	2018年度 実 績	2019年度 実 績	2020年度 実 績
受 注 高	1,106	946	1,120	1,209	1,224	1,162
売 上 高	1,081	938	1,053	1,027	1,212	1,234
売 上 総 利 益	13.3% 144	12.8% 119	11.6% 122	8.4% 86	11.1% 134	11.6% 143
営 業 利 益	8.8% 94	7.6% 71	6.5% 68	2.6% 26	5.9% 71	6.3% 77
経 常 利 益	8.9% 95	7.7% 72	6.7% 70	2.7% 27	6.0% 72	6.4% 79
当 期 純 利 益	5.8% 62	-7.0% ▲ 66	4.6% 48	3.3% 34	6.5% 78	4.4% 54

前中期経営計画 業績状況

名実ともに業界No.1の道筋としてこの3年間でスーパーゼネコン系No.1を目指すとして前中期経営計画に臨んだが、3年間の合計額でみると、受注、売上、利益とも、どの数値も目標に達しない厳しい状況となった。

業績が振るわなかった要因として、人材確保が計画通り進まなかったこと、及び、2015年に発覚した独禁法違反事件による行政処分や措置が2016年より断続的に4年間に及ぶ状況となり、特に官庁からの受注(一部下請についても)が不能となったこと、そして中計最終年度の2020年度においては、新型コロナウイルスの蔓延により特に民間の需要が大きく減退したことが主な要因としてあげられる。

このような厳しい状況下にあっても、「コンプライアンス遵守」の基本方針のもと、正々堂々と競争に臨み、さらには新たな事業も開始し、敢えて高い目標を掲げ持続的成長に挑戦できたことは、企業のみならず我々役職員の成長に結びついたと言える。

中期経営計画

－2021～2023年度－

基本方針及び重点施策

基本方針

- ◆「世のため、人のため」の企業として社会に対する責務を果たすために、企業・経営・行動の各理念に立ち還り、コンプライアンスを基軸とした事業活動を進一層の精神で強力に推進していく。
- ◆「名実ともに業界No.1」への道程として、持続的成長を実現することで過去最高利益を更新し、スーパーゼネコン系道路会社で「No.1」となる。

重点施策

1	人材の獲得及び育成	－ 「企業は人なり」の実践
2	本業の拡大	－ 競争に打ち勝つための戦略
3	新規事業の収益化	－ 早期の収益化とカーボンニュートラルに向けた取組みの推進
4	技術開発の推進	－ 将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発
5	安全・環境・品質の向上	－ 社会からの信頼の獲得
6	グループ力の強化	－ 最強のグループ構築

各施策においてSDGsに向けた対応を行い、DXにより事業及び業務に革新的な変化をもたらし、競争優位を築いていく

1. 人材の獲得及び育成 – 「企業は人なり」の実践

【人材の獲得】

- ①人材の確保 ②新規事業人材増強
- ③離職防止策の実施

【人材の育成】

- ①企業理念等の浸透 ②社外研修への参加 ③社内研修の強化
- ④計画的OJTの強化 ⑤資格取得の推進 ⑥働き方改革の推進
- ⑦次世代リーダーの育成 ⑧CCUSの利用推進

2. 本業の拡大 – 競争に打ち勝つための戦略

- 【工事部門】 ①得意先別施策による工事受注の拡大 ②官庁工事受注の拡大
③JV組成による受注の拡大 ④民間工事受注の拡大
⑤大成建設グループ、当社グループからの工事受注の拡大
⑥調達購買の推進 ⑦設計変更・追加工事・VE・CDの推進
⑧内勤から外勤へのシフト ⑨外注社員比率の増加
⑩ICT技術の活用 ⑪協力会社の育成、新規協力会社の獲得
- 【製品部門】 ①製造合材出荷数量拡大 ②廃材等その他販売の拡大
③新規拠点の設立 ④営業力強化 ⑤工場運営の外注化促進
⑥省人化・無人化 ⑦環境保全施策の推進(脱炭素の推進)
- 【間接部門】 ①DXによる社内業務革新

3. 新規事業の収益化 – 早期の収益化と カーボンニュートラルに向けた取組みの推進

【工事系新規事業】

- ①高速道路の維持更新 ②維持修繕事業の推進
- ③新技術等による維持修繕事業の推進
- ④中小水力発電事業の推進(カーボンニュートラル施策)
- ⑤PPP/PFI、コンセッション事業の推進 ⑥建築事業の推進
- ⑦ダンプ事業の調査・研究

【製品系新規事業】

- ①乳剤事業への参入 ②シールド工事使用材料の製造販売

【海外事業の拡大】

- ①ベトナム ②中国

4. 技術開発の推進 – 将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発

以下を重点課題として、技術研究開発を推進する。

- ①ICT舗装技術・DX技術の応用研究
- ②無人化・自動化施工技術の開発
- ③長寿命化舗装技術の開発
- ④非接触給電舗装に適した舗装材料・舗装構造の開発
- ⑤脱炭素社会に向けた舗装材料の開発
- ⑥再生エネルギー事業に必要とされる機器の開発
- ⑦Smart CityやSociety5.0などの都市の社会基盤に必要な技術開発

5. 安全・環境・品質の向上 – 社会からの信頼の獲得

以下を重点課題として、トラブルの撲滅を図る。

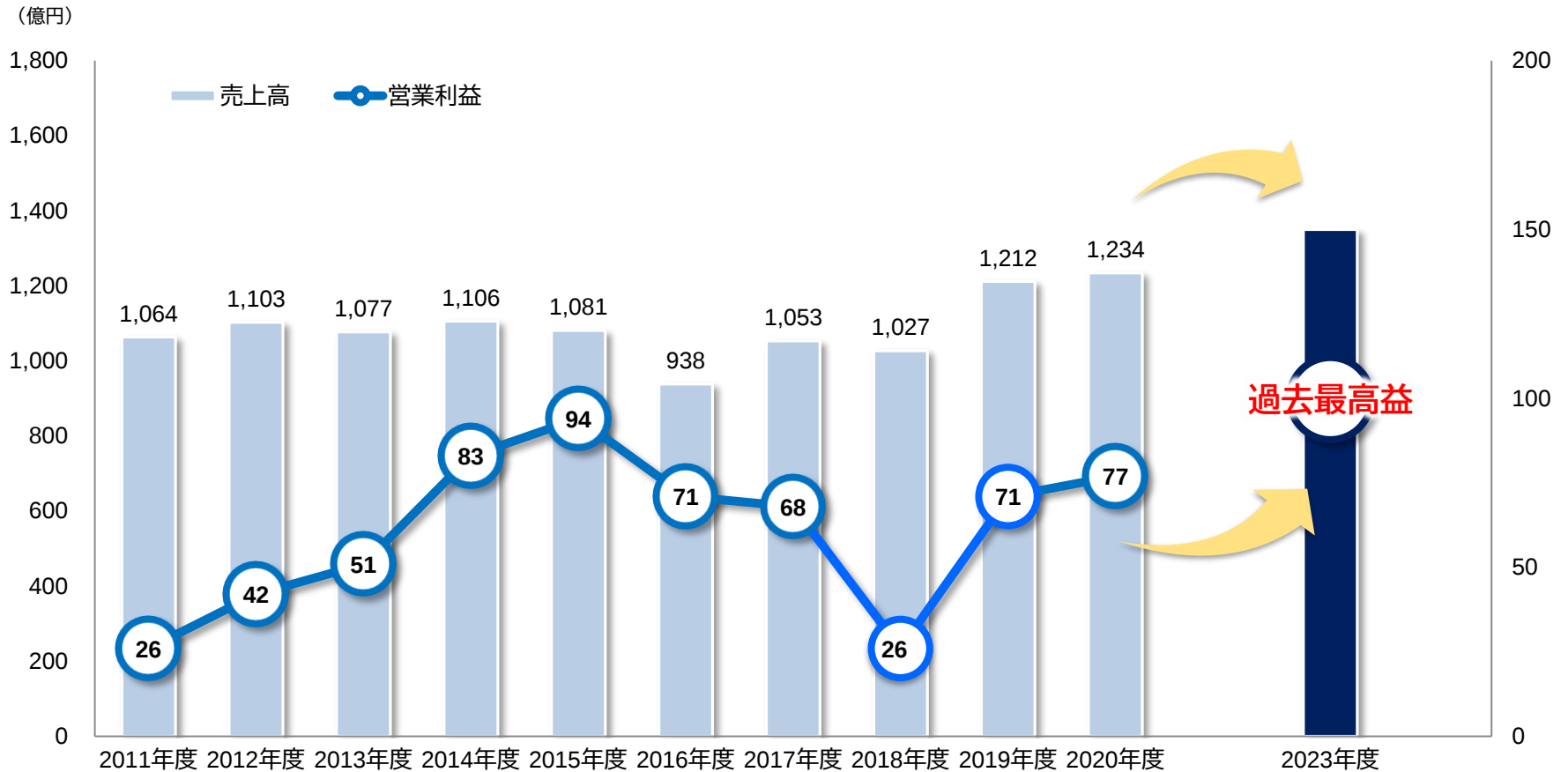
- ①安全教育の強化
- ②パトロールの実施
- ③工事検討会における事前検討
- ④ICT等を活用した安全管理の推進
- ⑤安全の見える化・作業観察・ダブルセーフティーの実施
- ⑥環境事故ゼロ
- ⑦品質トラブルの撲滅

6. グループ力の強化 – 最強のグループ構築

以下を重点課題として、グループ力の強化を図る。

- ①人的交流の実施
- ②新しいビジネスモデルの展開や案件情報の共有及び必要技術の取得
- ③主要資材のグループ共同調達によるコストダウン
- ④ロテックグループ全体業績目標管理の実施
- ⑤地方官庁対応、小工事対応、合材出荷増加対応のための地方子会社設立
- ⑥DXに関する連携
- ⑦ロテックグループにおける情報システムの共有化

経営数値目標



2023年度に営業利益で過去最高益を達成すること、及びそのための売上高を目標とする



大成建設グループ

大成ロテック株式会社

For a Lively World